

# 11 試験研究

## 林業試験場試験研究課題

試験研究項目	研究期間	研究内容	担当研究室
1 健全で豊かな森林づくりに関する研究			
(1)ハイブリッド無花粉スギの創出	H24～R3	耐虫性および耐雪性品種などに無花粉形質を取り込んだ付加価値の高いスギ造林品種を創出する。	森林管理
(2)低コスト再造林・保育技術の確立	H26～30	再造林にかかる経費を低減する植栽方法・保育手法を検証し、コスト低減が可能な造林・保育技術を確立する。	森林管理
(3)初期成長の優れたコンテナ苗生産技術及び植栽実証試験	H27～R1	低コスト再造林を推進するため、初期成長が優れた「コンテナ苗」の生産技術を確立するとともに、現地植栽における活着率・初期成長の実証試験を行う。	森林管理
(4)山地災害リスクを回避・軽減する現地判定技術の開発	H28～R2	山地災害の危険度把握技術及び危険度に対応した集材作業システムの選択技術を開発する。	森林管理
(5)ドローンを使った森林現況解析及び架線集材におけるリードロープ架設の実証試験	H29～30	ドローンによる所有林境界や森林現況の解析試験、及び架線集材用リードロープの運搬・架設試験を行う。	森林管理
(6)早生広葉樹等の育苗及び植栽技術に係る実証試験	H29～R3	早生樹を利用した短伐期林業の技術体系化に必要な育苗・育林技術開発、及び有用広葉樹の育林技術を確立する。	森林管理
(7)樹木根系を考慮した防災林配置技術の開発	H30～R4	森林立地環境と樹木根系の分布特性を明らかにし、立地環境に応じた防災林配置技術を開発する。	森林管理
2 里山とともに生きる営みを推進する研究			
(1) 高齢広葉樹林の萌芽更新技術の確立	H28～R2	高齢・大径化したナラ類を主とする広葉樹林の萌芽力試験等を行い、広葉樹林を適切に循環利用する萌芽更新技術を確立する。	森林管理
(2) 特用樹木の効率的増殖技術の開発	H28～30	里山や耕作放棄地での植栽・栽培が期待される特用樹木（トチノキ、クワ、コウゾ等）について、さし木による優良品種の効率的な増殖技術を開発する。	森林管理

試 験 研 究 項 目	研究期間	研 究 内 容	担当研究室
3 県産材の需要拡大に関する研究			
(1) 県産スギ板材の表面処理技術に関する研究	H28～30	スギ内装材のキズ発生を抑制できる表面処理技術を開発する。	木材利用
(2) 現場施工が容易なユニット式耐力壁の開発	H28～30	スギ厚板を用いた耐力壁の施工の簡素化・効率化・工期短縮が可能な「ユニット式耐力壁」を開発する。	木材利用
(3) 住宅内装製品への県内産広葉樹材の活用に関する研究	H29～R1	県内産広葉樹材を内装製品（フローリング、壁板等）として活用するため、材質に対応した加工技術を改良・開発する。	木材利用
(4) スギ材の効率的な葉枯らし乾燥システムの開発	H29～R1	鳥取県林業試験場が改良・開発した「応力波伝搬時間」の計測技術を応用した葉枯らし乾燥期間の調査及び簡易な計測手法の開発を行う。	木材利用
(5) 保存処理のCLTの製造技術の確立	H29～R1	CLT（直交集成版）を用いた建築物の耐久性を向上させるため、防腐防蟻薬剤の加圧注入処理によって腐朽やシロアリに対する抵抗力を高めたCLTの製造技術を確立する。	木材利用
(6) 施工環境の変化による大断面CLTの「反り」発生に関する共同調査	H30	CLT（直交集成板）が建築途中で雨水に濡れた場合に懸念される「反り」の発生について、製造者と共同で調査し、適切な施工と管理方法の提案を行う。	木材利用